

製品名: FUBP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02008**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 74 kDa

抗原情報

遺伝子名	FUBP1
別名	DNA helicase V; FBP; FUBP; Fubp1; Fubp4; FUSE-binding protein 1; HDH V
遺伝子 ID	8880
SwissProt ID	Q96AE4
免疫原	ヒト FUBP1 の合成ペプチド

背景

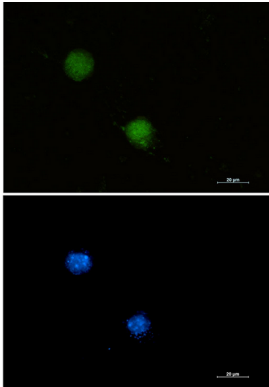
MYC プロモーターの上流に位置する一本鎖の極上流エレメントに結合し、MYC の発現を制御する。転写の活性化因子としても抑制因

子としても作用する可能性がある。

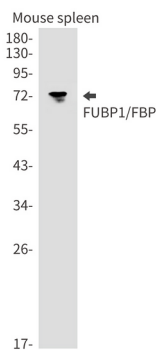
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

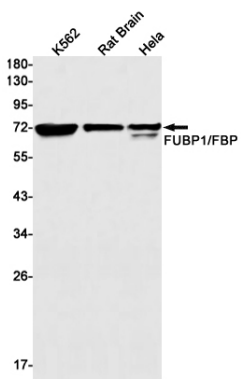
画像データ



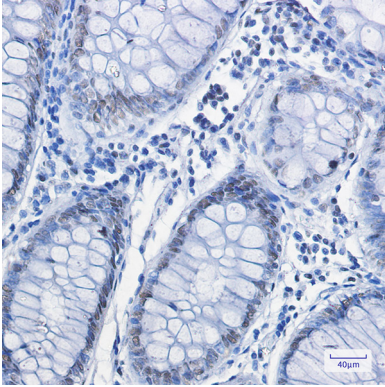
FUBP1 抗体と DAPI (青) を使用した 293 の FUBP1 (緑) の免疫細胞化学分析。



FUBP1/GBP 抗体を用いたマウス脾臓溶解物中の FUBP1/GBP のウェスタンブロット分析。



FUBP1/GBP 抗体を用いた K562、ラット脳、HeLa ライセート中の FUBP1/GBP のウェスタンブロット分析



FUBP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。